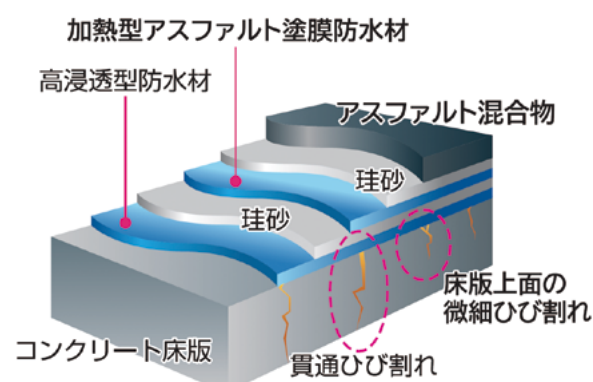


阪神高速グループが目指す技術開発

阪神高速グループでは、事業環境の変化やさまざまな社会課題に対応していくための技術開発に取り組んでいます。例えば、大規模更新・修繕事業や老朽化対策を円滑に実施していくため、交通影響などのソーシャルロスの軽減や道路資産の長寿命化に資する技術開発を進めています。取り組みは、建設資材や労務費などの高騰に伴う事業環境の変化に対応するため、コスト縮減に配慮しながら進めます。社会課題の解決に向けては、人口減少や担い手不足への対応として、省人化・省力化による生産性向上に資する技術開発や、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーや低炭素材料の活用など環境負荷軽減に貢献する技術開発を実施していきます。また、南海トラフ地震などの大規模災害の発生に備え、迅速かつ確かな道路機能の確保および復旧を可能とする、道路構造物や設備の耐震機能向上に向けた技術開発を実施していきます。



ソーシャルロス軽減に資する技術開発
(超高強度繊維補強コンクリート(UFC)床版)



構造物の長寿命化に資する技術開発(高性能床版防水)

オープンイノベーションによる研究の推進

企業などが保有する技術(シーズ)が、阪神高速グループのニーズに対応するか、あるいは相互の技術融合により新たな価値が生まれ出せるかを議論(コミュニケーション)したうえで、有意義な成果が期待される場合に研究を実施する「コミュニケーション型共同研究」の枠組みを設けています。シーズ技術は年2回実施する公募相談会で公募しており、構造物の建設や維持管理など、幅広い分野のニーズに対応する技術開発を行っています。2025年度は、片面施工ボルトのコスト合理化を目指して開発を進めてきた新たな高力ワンサイドボルトの改良・試験施工を行い、現場適用性を検証しました。また、高速道路本線の橋面舗装における中温化舗装や再生舗装用材料の現場適用を目指した共同研究に着手しました。

今後もニーズへの適用性の検討やニーズに応じたさらなる研究開発と実用化に向けた実装、試作、試験施工などに取り組んでいきます。阪神高速グループが求める新たな技術は阪神高速ホームページでも公開しています。



高力ワンサイドボルトの開発と現場適用

PICK
UP!

新技術の募集

新たな価値を創造する新しい技術を公募するサイトです。



詳しくはコチラ